

2012年6月18日

各 位

双日株式会社

双日、中国内蒙古のモンゴル資源会社に出資  
モンゴル資源の独自物流網を確保

双日株式会社（以下双日）は、中国・内蒙古オルドス集団 100%子会社でモンゴルにおいて資源ビジネスを手掛ける中蒙煤炭有限公司（本社：内蒙古自治区フフホト市、董事長：李福成、以下中蒙）の 10%持分を取得することに合意しました。双日の出資額（10%持分取得及び増資引受け）は、3000 万人民币元（約 3 億 7500 万円）になります。

オルドス集団（本社：内蒙古自治区、代表：王林祥董事長）は、カシミヤ製品の製造販売において世界最大手企業であり、合金鉄・電力・石炭・石炭化学等の事業を内蒙古地区を中心に大規模に手掛けている同地区最大手企業の 1 社です。

中蒙は、中国とモンゴル国境地区（主要通関口 2 か所）に選炭加工工場、ヤード、トラックを保有しモンゴル炭の中国向け国境貿易を手掛けています。

双日は 2010 年より中蒙経由でモンゴル炭の中国向け販売を手掛けてきましたが、今回の中蒙への出資により同社が保有する国境物流・加工機能を基盤にして、中国国内市場への拡販、更には日本等第三国市場への貿易拡大を目指していきます。

また、将来オルドスグループと共にモンゴル炭資源開発にも取り組むことを検討しており、モンゴル炭の上流（資源）－中流（物流・加工）－下流（販売）に至る独自のサプライチェーンを構築していくことを目指しております。今後、中蒙の調達・販売に関わる主要ポストに双日から人材を派遣し、モンゴル炭の資源開発および安定供給を積極的に支援していきます。



中蒙所有のトラック

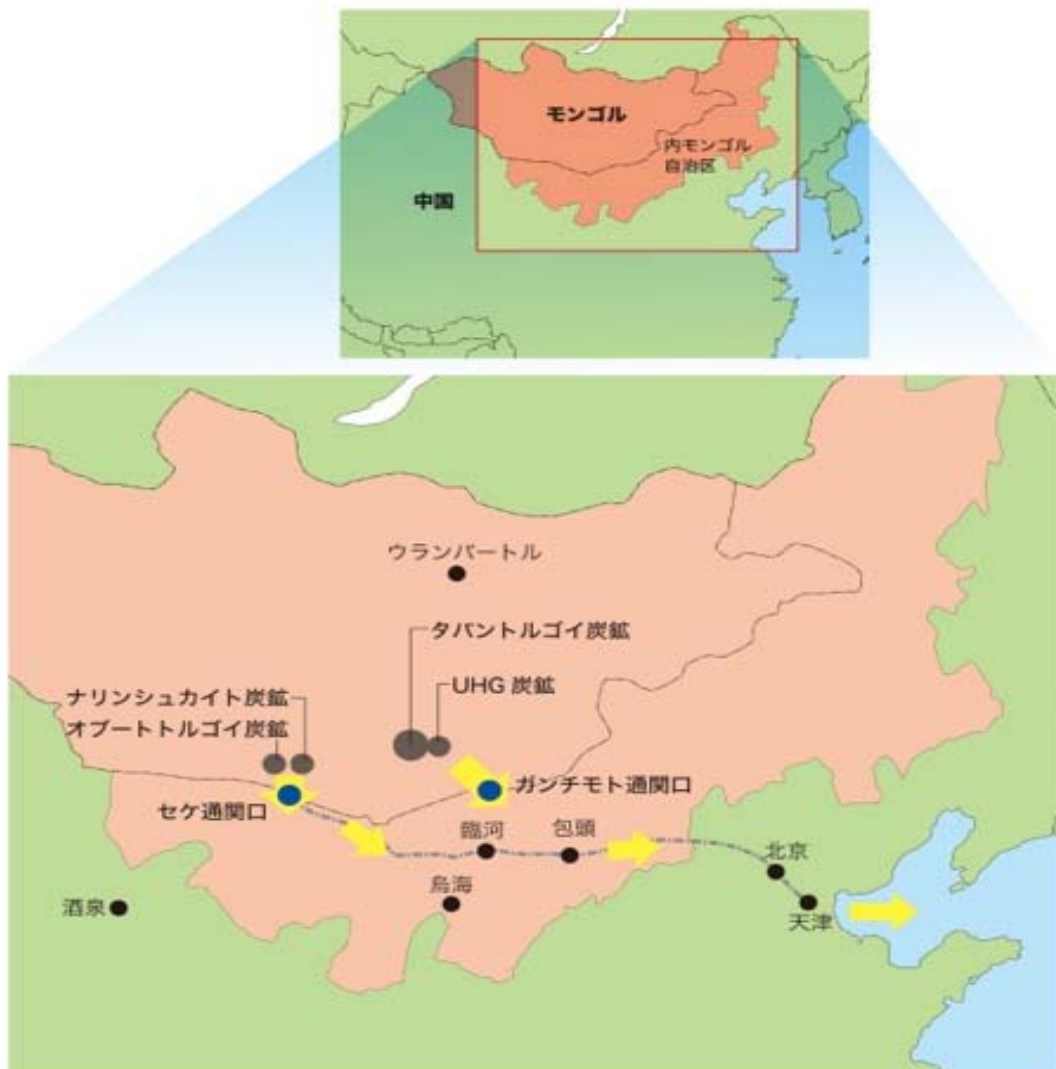
モンゴルは1500億トン（世界第3位）と豊富な石炭埋蔵量を有すると同時に、大規模露天掘りによる低コスト生産が可能であることから、世界中の資源会社の注目を集めております。特に製鉄コークス用強粘結炭については、現在世界貿易量の9割以上をオーストラリア炭、米国炭、カナダ炭が占める状況となっておりますが、この3国に次ぐ新興ソースとして、モザンビークやモンゴル等が注目されています。

今後モンゴル産強粘結炭の出荷量は着実に増加し、2020年には世界貿易量の約1割を占めるまでに成長すると見られております。

特にモンゴルは、世界最大の需要地である日本、中国、韓国に隣接しており、安定供給の観点からアジア域内の需要家からは非常に大きな期待を受けております。

製鉄コークス用強粘結炭、発電用一般炭を含めた2011年のモンゴル炭総輸出量は約2,300万トンとなっておりますが、今後鉄道等インフラ整備が進むに従い輸出量は倍増し、2020年には5,000万トンに達すると予測されております。

以 上



モンゴル炭鉱地図

(参考)

## 【中蒙煤炭概要】

社名 : 内蒙古中蒙<sup>ちゅうもうめいたん</sup>煤炭有限责任公司  
設立 : 2010年2月9日  
資本金 : 1億人民元から3億人民元へ増資  
出資構成 : オルドス投資ホールディング集团有限公司 90%  
                  双日株式会社 10%  
董事長 : 李福成  
所在地 : 中国内蒙古自治区フフホト市  
主要事業 : モンゴル炭の卸売、物流、加工、炭鉱開発など

## 【オルドス集団概要】

社名 : オルドス投資ホールディンググループ有限公司  
                  (中国語名: 内蒙古鄂尔多斯投资控股集团有限公司)  
設立 : 1969年  
資本金 : 31.1億人民元(約390億円)  
董事長 : 王林祥  
所在地 : 中国内蒙古自治区オルドス市  
主要事業 : カシミヤ、合金鉄、石炭・コークス、電力、石炭化学、不動産等

## 【本件に関する問い合わせ】

双日株式会社 広報部

03-5520-3404